



【教育目標】 小樽の未来をつくる北陵生の育成

【重点】 「15の春をみんなで考えよう」 ～小中一貫教育の継承と進化～

1 学期の活動の様子について

7月18日(木)の18時から、委員10名が参加をして第2回の学校運営協議会が行われました。1学期の活動の様子では前回意見を頂いた地域と一体となった取組として、清水町会・源町会・豊川町会・石山町会・東石山町会・梅ヶ枝町会の6つの町会と行った清掃活動について紹介をさせていただきました。また、講師の先生を招いて教えて頂いた潮音頭教室や高島越後盆踊りの様子や北陵中学校区で小中一貫教育の一つとして行われている小中合同授業など1学期の活動の様子について振り返りました。

第2回学校運営協議会の中で頂いたご意見等

①学力面について

委員の方からも本校の課題である学力面について多くの質問や意見を頂きました。特に授業中の様子や不登校生徒への学力面での支援などについて質問がありました。4月当初と比べると、落ち着いた場面も見られましたが、3年生を中心に進路について意識をさせながら学習に取り組ませていること、不登校生徒も含めて個別の学習に力を入れて取り組んでいることなどを伝えさせていただきました。委員の方からは特に3年生について今後の進路に向けて生徒の進学の可能性を広げてほしいという要望が出されました。

②地域や外部機関との連携について

委員の方からは本校の12SKILLの重点の一つである登下校の挨拶について「よくできている」という意見を頂きました。2学期も1学期同様地域の方に元気にあいさつをしてほしいという要望や今後も地域として中学生の見守り活動を継続し協力していくという意見を頂きました。また、学校と地域との連携だけでなく、関係機関との連携についても意見が出されました。学校経営方針にあるように生徒理解に努めるためにスクールソーシャルワーカーとの情報共有やいじめ・不登校対策としてスクールカウンセラーの活用について話をさせていただきました。

生徒の健全育成を図る上で学校と地域・外部機関との連携も重視しながら一緒になって取り組んでいくことの大切さを共有することができました。

